



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル 上場取引所 東  
 コード番号 7345 URL <https://www.aipf.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 譲治  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画部長 (氏名) 宗正 彰 (TEL) 045-329-7150  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画掲載予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	867	△5.9	△10	—	△9	—	△13	—
2025年3月期第1四半期	921	10.5	△7	—	△7	—	△12	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △13百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △12百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△4.25	—
2025年3月期第1四半期	△3.79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,004	603	60.1
2025年3月期	1,000	630	63.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 603百万円 2025年3月期 630百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年3月期の期末配当金予想額につきましては、現時点で未定であります。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

当社グループの主たる事業である金融商品仲介業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、その業績予想を行うことは困難であるため記載しておりません。また同様の理由から、2026年3月期の配当予想額は未定であるため、記載しておりません。

なお、重要な経営指標である媒介する資産残高と所属IFA数は毎四半期末の翌月に開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	3,534,800株	2025年3月期	3,532,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	262,800株	2025年3月期	262,800株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	3,270,918株	2025年3月期1Q	3,207,200株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、連結業績予想を行うことが困難であるため記載しておりません。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示しております。あわせて、当社ウェブサイトに掲載しております。

また、決算説明動画は2025年8月27日(水)にIRTVウェブサイト (<https://irtv.jp/>) に掲載、その後、当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の継続による輸入コストの上昇、資源エネルギー価格の高止まりによる物価上昇圧力、人手不足に伴う賃金水準の上昇等により、企業を取り巻く経営環境は依然として不透明な状況が続きました。新年度入り早々の日経平均株価は、主に米国トランプ政権による各種追加関税政策発動の動きを受け、一旦は大きく下落したものの後に回復。一方、日銀による追加利上げの可能性や今夏の参議院議員選挙の行方など、先行き不透明なリスク要因が残る状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、政府が推進する「資産運用立国実現プラン」が追い風となる一方、従前からの地政学リスクや中国景気の減速懸念に加え、米国トランプ政権による各種追加関税政策に伴う金融市場への影響がリスク要因として挙げられます。また、参議院における与党の議席数過半数割れは、当第2四半期連結会計期間以降の新たなリスク要因になるものと思われま

す。このような環境下、当社グループでは、政府が推進する「資産運用立国実現プラン」に沿った成長戦略を推進してまいります。具体的には、媒介する資産残高の増大による、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、顧客の最善の利益を追求するIFAから選ばれる金融商品仲介業者を目指すことを目的として、以下の三点に注力してまいります。

- ① 当社グループの管理体制の更なる整備
  - ・顧客の最善の利益に資する金融商品等の販売及び管理等を行う態勢の更なる整備
  - ・コーポレートガバナンス及び内部統制の更なる整備
- ② 安定的な資産形成に資するIFAの増員
  - ・媒介する資産残高に占める投資信託割合の上昇及びストック手数料の増加
  - ・国民の安定的な資産形成に資するIFAのためのフォローアップ体制の構築
  - ・マーケティングサポート及び顧客管理ツール、営業管理ツールの充実
- ③ 安定的な資産形成に資するIFAから選ばれる金融商品仲介業者としての更なる進化
  - ・同業種、異業種との意見交換及び情報収集の強化
  - ・業務提携及びM&A等の動きを加速

特に、包括的業務提携先の大手保険代理店・株式会社エフケイとは、両社の相乗効果の創出などを見据えつつ、継続的な意見交換を進めてまいります。

今後も、IFA業界のリーディングカンパニーとしての当社の責務を果たし、IFA業界の健全な発展に貢献するよう尽力してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の所属IFA数は212名（前年度末比0.5%増、1名増、なお7月末現在の所属IFA数は215名）、媒介する資産残高は374,399百万円（前年度末比7.9%増、27,460百万円増）、金融商品仲介業に係る口座総数は17,250口座（前年度末比1.3%増、220口座増）となり、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は867,203千円（前年同四半期比5.9%減、54,699千円減）、営業損失10,010千円（前年同四半期は営業損失7,449千円）、経常損失9,936千円（前年同四半期は経常損失7,386千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13,894千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失12,152千円）となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態については次のとおりであります。

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ10,932千円増加し、844,580千円となりました。これは主に、売掛金が19,319千円増加した一方で、現金及び預金が6,936千円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ6,112千円減少し、160,375千円となりました。これは主に、有形固定資産の減少3,274千円（うち減価償却による減少3,617千円）及び繰延税金資産が2,372千円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は1,004,956千円となり、前連結会計年度末に比べ4,820千円増加いたしました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ31,421千円増加し、401,299千円となりました。これは主に、買掛金が42,182千円増加した一方で、未払法人税等が4,624千円及び賞与引当金が6,041千円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ26,601千円減少し、603,657千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失13,894千円の計上及び配当金の支払い13,078千円により利益剰余金が26,973千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主たる事業である金融商品仲介業の業績は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、その業績予想を行うことは極めて困難であるため記載しておりません。これに代えて、重要な経営指標である媒介する資産残高（AUM）と所属IFA数は毎四半期末の翌月に開示しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	495,287	488,351
売掛金	303,828	323,148
その他	34,532	33,081
流動資産合計	833,648	844,580
固定資産		
有形固定資産	40,879	37,604
無形固定資産	1,448	1,312
投資その他の資産		
差入保証金	106,118	107,145
繰延税金資産	4,470	2,097
その他	13,572	12,215
投資その他の資産合計	124,161	121,458
固定資産合計	166,488	160,375
資産合計	1,000,136	1,004,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	261,843	304,026
未払法人税等	8,166	3,541
賞与引当金	12,284	6,243
資産除去債務	862	1,371
その他	47,294	48,493
流動負債合計	330,452	363,677
固定負債		
資産除去債務	30,734	30,227
その他	8,690	7,394
固定負債合計	39,425	37,622
負債合計	369,877	401,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,959	342,145
資本剰余金	270,895	271,081
利益剰余金	157,743	130,770
自己株式	△140,340	△140,340
株主資本合計	630,258	603,657
純資産合計	630,258	603,657
負債純資産合計	1,000,136	1,004,956

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	921,903	867,203
売上原価	740,109	688,814
売上総利益	181,793	178,389
販売費及び一般管理費	189,242	188,400
営業損失(△)	△7,449	△10,010
営業外収益		
受取家賃	84	84
雑収入	60	63
営業外収益合計	144	147
営業外費用		
支払利息	81	43
株式交付費	—	30
営業外費用合計	81	73
経常損失(△)	△7,386	△9,936
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,386	△9,936
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,585
法人税等調整額	3,132	2,372
法人税等合計	4,765	3,958
四半期純損失(△)	△12,152	△13,894
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,152	△13,894

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△12,152	△13,894
四半期包括利益	△12,152	△13,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,152	△13,894
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、IFAによる金融サービス提供事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	5,417千円	3,756千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。